

第 58 回東京心エコー図研究会 世話人会資料

平成 27 年 11 月 21 日 (土)

13 : 30 ~ 14 : 00

## 目次

・ 本日の議題	3～4
・ 第 57 回 東京心エコー図研究会世話人会 議事録	5～8
・ 第 57 回 アンケート結果	9～11
・ 第 57 回 症例検討 投票用紙	12
・ 第 57 回 症例検討会 ベストイメージング	13
・ 会則	14～15
・ 世話人一覧	16～18
・ 過去特別講演一覧	19～22
・ 当番世話人一覧	23～24

## 本日の議題

### 1) 第 57 回研究会の報告

- ① 第 57 回東京心エコー図研究会 世話人会議事録について
- ② 第 57 回東京心エコー図研究会 アンケート結果
- ③ 第 57 回東京心エコー図研究会 症例検討会 ベストイメージング投票結果報告

### 2) 第 58 回研究会について

- ① 症例検討会
- ② 症例検討会の抄録の扱い
- ③ 症例検討会投票のご依頼
- ④ 特別講演

### 3) 次回の研究会に関する確認

- ① 第 59 回開催予定日の確認  
当番世話人：村田 光繁先生（慶應義塾大学病院）  
会場：JR 東京総合病院（渋谷区）  
日程：平成 28 年 5 月 21 日（土）
- ② 第 60 回開催予定日の確認  
当番世話人：浅川 雅子先生（JR 東京総合病院）  
会場：JR 東京総合病院（渋谷区）  
日程：平成 28 年 11 月 19 日（土）（前回から日程変更あり）

### 4) 研究会の運営の在り方について

### 5) 今後の運営組織と研究会運営に関しまして

- 6) 代表幹事、新常任幹事紹介
- 7) 第 61 回研究会 当番幹事・日程決定  
当番幹事未経験の先生方
- ・新沼 廣幸先生  
(聖路加国際病院 1992 年卒 ※第 52 回より世話人)
  - ・馬原 啓太郎先生  
(榊原記念病院 2000 年卒 ※第 55 回より世話人)
- 8) 本日の研究会運営について
- ・ 研究会の開催案内について
    1. 日本心エコー図学会の H.P. ( <http://www.jse.gr.jp/> ) の「関連学会」のページに案内を掲載
    2. 東京心エコー図研究会ホームページ更新済み
    3. 案内葉書の送付を取りやめ、メールでのご案内とする
  - ・ 学会単位申請について
    1. 日本超音波医学会にて専門医、検査士単位承認
  - ・ 学会後援の報告
    1. 日本心エコー図学会の後援を受けることとなった
  - ・ 日程の決定方法に関しては、次回 5 月研究会開催時迄に、次々回の開催日程について、継続してアンケートをとる形式にする
- 9) 本会場座席について
- 10) メンバー登録に関して

## 第 57 回東京心エコー図研究会世話人会議事録

日 時 : 平成 27 年 5 月 30 日 (土) 13 : 30 ~ 14 : 00  
場 所 : 砂防会館 別館 3 階 「六甲」  
司 会 : 茅野 博行 先生 (第 57 回当番世話人 昭和大学病院)  
羽田 勝征 先生 (代表世話人 榊原記念クリニック)

### <議 題>

#### 1) 第 56 回研究会の報告

##### ① 第 56 回東京心エコー図研究会 世話人会議事録について

手元の資料に第 56 回東京心エコー図研究会 世話人会の議事録を同封

##### ② 第 56 回東京心エコー図研究会 アンケート結果

第 56 回は医師 = 72 名 臨床検査技師他 = 180 名の計 252 名にご参加頂く。

主なアンケート結果としましては、「的確な指摘があり勉強になった」、等

その他の感想に関しましては、別紙に記載

##### ③ 第 56 回東京心エコー図研究会 症例検討会 ベストイメージング投票結果報告

東京都立多摩総合医療センター 循環器内科 伊東勘介先生の

「僧帽弁術前心エコーで右房内異常構造物を認めた一例」が最多得票数であったため

ベストイメージングとして表彰

#### 2) 第 57 回研究会について

##### ① 症例検討会

5 施設より応募。発表施設はプログラムをご参照下さい。

##### ② 症例検討会の抄録の扱い

例年通り、症例検討会後の休憩時の配布

##### ③ 症例検討会投票のご依頼

前回同様、ベストイメージングの発表と表彰を特別講演の終了後に行う。

集計方法については、症例検討 4 題目終了後の休憩時間に回収ボックスを各入口

付近に配置。結果に関しては、特別講演終了までに集計の上、発表

④ 特別講演

特別講演として、仙台厚生病院 心臓血管センター 松本 崇先生に

「MitraClip system：現在の適応と今後の僧帽弁治療」の演題にてご講演を頂く

3) 次回以降の研究会に関する確認および決定事項

①第 58 回開催予定日の確認

当番世話人：大門 雅夫先生（東京大学医学部附属病院）

会場：砂防会館（千代田区）

日程：平成 27 年 11 月 21 日（土）

②第 59 回開催予定日の決定

当番世話人：村田 光繁先生（慶應義塾大学病院）

会場：JR 東京総合病院 講堂

日程：平成 28 年 5 月 21 日（土）

③第 60 回当番世話人の決定

当番世話人未経験の先生方

・浅川 雅子先生

（JR 東京総合病院 1995 年卒 ※第 51 回より世話人）

・新沼 廣幸先生

（聖路加国際病院 1992 年卒 ※第 52 回より世話人）

・馬原 啓太郎先生

（榊原記念病院 2000 年卒 ※第 55 回より世話人）

⇒通例により、当番未経験の世話人の中から、卒年および世話人への承認の

順番から浅川 雅子先生に決定

開催候補日

11 月 5 日（土）

11 月 12 日（土）

11 月 19 日（土）

11 月 26 日（土）

⇒ 11 月 5 日（土）とすることで決定

#### 4) 研究会の運営のありかたと新世話人推薦について

代表世話人と運営委員の任期が終了しているが、もうしばらく、再任。代表世話人は来年5月で退任。

研究会の若返りとスリム化：製薬業界の厳しい現況を鑑みると従来のような共催は難しくなった。数社の回り持ちと負担軽減、および、メーカーが協力しやすい研究会に変える必要がある。

ホームページの充実：来年からの案内はハガキを廃止してホームページへの登録をした方にメールで行う。

新組織について：今年11月の世話人会で会則改訂をして、現在の運営委員と世話人会は全員退任して頂き、新たに10数名の新世話人と会員の形へと組織を変更する。従来の50数名の世話人は会員へと移行する。運営は、10数名の新世話人によって行われる。新世話人としてふさわしい先生の、自薦、他薦を募ります。

会費は年2000円（参加費は徴収しない）として、一般の参加者からの徴収は、1000円/回に値上げする。今後、共催メーカーを募るために、心臓血管研究所病院の山下武志先生、東京大学病院の絹川弘一郎先生、慶應義塾大学の林田健太郎先生、以上3名を新たに世話人に推薦した。

以上を報告して承認を得る。

今後の共催予定：第59回はブリストル・マイヤーズ株式会社/ファイザー株式会社の二社による共催となる。

協賛として、GE、東芝、シーメンス、アクテリオンなどから得られる見通し。

#### 5) 今後の研究会運営について

- 研究会の開催案内について

1. 日本心エコー図学会のH.P. (<http://www.jse.gr.jp/>)の「関連学会」のページに案内を掲載。
2. 東京心エコー図研究会ホームページ更新済み
3. 案内葉書の送付

- 学会単位申請について
  1. 日本超音波医学会にて専門医、検査士単位承認
  
- 学会後援の報告
  1. 日本心エコー学会の後援を受けることとなった
  
- 日程の決定方法に関しては、次回 5 月研究会開催時迄に、次々回の開催日程について、継続してアンケートをとる形式にする。

6) 本会場座席について

世話人用の席を右前方に用意

7) メンバー登録に関して

今後、研究会の案内はメールにて実施。



## 第 57 回 東京心エコー図研究会に関するアンケート

### ■ 症例検討会についてのご感想

《医師》

- ・ 様々なみたことのないエコー（画像）がたくさん見れ、症例が多くおもしろかった
- ・ 麻酔科なので内科系のプレゼンテーションがわかるか不安でしたが、みなさんわかり易くて、**discussion** もとても勉強になりました
- ・ 珍しい症例でかつ考えさせられる症例で一つの経験となります
- ・ 心エコーに特化した **discussion** でないように思いました

《ソノグラファー》

- ・ たこつぼ型心筋症が再発心尖部型と中部型。中部型の **type** が見れて勉強になりました
- ・ **M 弁副組織の種類？**があるのを知りました
- ・ 肥大型心筋症の症例の **3D プリンター**は、立体的に構造を理解する上でとても有用だった
- ・ 大病院だから経験できる、日常経験しない珍しい症例を知ることができ、とても勉強になりました
- ・ たこつぼ型心筋症の壁異常部位は、心尖部であったり、2 度目は部位が異なって現れることがあることは勉強になりました
- ・ 中部型のたこつぼ型あるのは驚きでしたが、カテ像と **US 像**ですこし差があったと思いますが、自分が **US** で気付けるか疑問に思いました
- ・ どの症例も経験あるが、稀な部分への考え方はよい経験になる
- ・ 僧帽弁の別組織の演題が画像がきれいで面白かった
- ・ 心エコー図と他の検査での所見を見ることによって、病態の把握ができ、さらに治療に役立てる事ができました
- ・ エコーだけでなく、治療や他の検査など全体の流れがわかってよかったです
- ・ テキスト的では学べない最新情報、希少な症例が多く、情報として貴重です

### ■ 特別講演についてのご感想

《医師》

- ・ **MitraClip** に関する情報が得られて、とても勉強になりました
- ・ 興味深い
- ・ **MitraClip** に期待したい
- ・ 今後、はやく **MitraClip** が日本にも入ってきてほしいと思いました
- ・ とてもわかりやすいお話できれいな画像が楽しかったです

- ・ MR の治療について考えさせられた
- ・ intervention 前に必要な心エコーとは？

#### 《ソノグラファー》

- ・ 最先端の僧帽弁治療の講演を聞くことができ、とても勉強になりました
- ・ MitraClip 興味があり細かな部分まで知ることができました
- ・ 英語が多くて分かりにくかったが、MitraClip の仕組みについて理解できてよかった
- ・ もっと症例をみたかった
- ・ 日本ではまだこれからの治療とのことですが、将来的に普及すれば治療法の選択肢が増え、また一歩、日本の医療が進化していくと思いました
- ・ 初めて聞く内容でした。静脈系からのアプローチに驚いています。今後の展開に注目していこうと思います
- ・ MitraClip System 現在の適応と今後の僧帽弁治療はコメディカルにもわかりやすい説明に興味を持ちました
- ・ エコーガイド下での MitraClip ope は印象的でした
- ・ カテーテル治療の弁修復が発展すること
- ・ MR に対してカテーテルで治療することが今後増えてくる可能性が高くなってくると思うため、エコーでの評価が重要になってくるので、それに対応していかないといけないと感じた

#### ■今後の心エコー図研究会においてのご希望の企画等

##### 《医師》

- ・ MR をとめて、心不全が悪化した症例などを検証してもらいたい
- ・ 臨床に役立つ（困った時にどうする？）様な症例の提示を希望します
- ・ 拡張不全  $e/e' \quad A/E$  などについてテーマだしてください
- ・ 基本の計測の仕方を画像上で教えていただきたいです
- ・ 可能であればタクシー券があると嬉しいです

##### 《ソノグラファー》

- ・ 左室内で腱索がちぎれて塊状エコーになっているケースなど
- ・ TAVI についての講演がききたい
- ・ ope の術式
- ・ 間違いやすい症例、診断に悩むような症例など、普段の検査ではなかなか出合えない症例を見られるとよいと思います
- ・ 右心系の評価について企画をお願いしたいです

- ・冠動脈疾患をエコーで評価する。例えば冠動脈エコー、ストレインなど。又、CT、MR など他のモダリティーについて 等が希望です
- ・肺高血圧症と TR、PR についてご教示ください
- ・先天性心疾患の成人のケース（小児期に ope して follow されて成人になったケース）について
- ・弁形成術
- ・先天性心疾患（複雑）
- ・会場は今後も砂防会館を希望します（交通の便や会場の規模）
- ・会費は多少増額してもかまいません
- ・軽食はいらないので、1000 円よりは値上げしないでもらいたい
- ・駅から近いところで開催をしてもらいたいです
- ・後半会場が暑くて集中できませんでした

第 57 回 症例検討会 演題

第 57 回 東京心エコー図研究会 投票用紙		
	演題名/施設名	投票欄
1	成人期に重症心不全を呈した未修復の修正大血管転位の一例	
	北里大学医学部 循環器内科学 前川恵美先生	
2	9年の長期経過後に2度目の心筋症発症を認めた一例	
	昭和大学病院 超音波センター 澤田亜由美先生	
3	左室流出路狭窄を来し得る二症例	
	独立行政法人 国立病院機構 埼玉病院 循環器科 谷英典先生	
4	心タンポナーデを契機に発見された心膜腔内腫瘍の一例	
	東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科 牧野健治先生	

※症例検討終了後の休憩時間に回収ボックスへの投票をお願いいたします

投票の結果、下記演題を「ベストイメージング」とした。

【症例】左室流出路狭窄を来し得る二症例

独立行政法人 国立病院機構 埼玉病院 循環器科

谷英典、南雲美也子、仁科善雄、田中宏明、小野智彦、山口隆太郎、矢嶋紀幸  
松村圭祐、片山隆晴、鈴木雅裕

抄録：左室流出路狭窄を来す代表的疾患は、主に閉塞型肥大型心筋症、大動脈弁下部狭窄などである。これらの狭窄を引き起こす主因は、左室流出路に過剰に張り出した心筋や癒痕組織などの形態的变化や、加えて僧帽弁弁尖の収縮期前方運動である。また、S字状中隔に僧帽弁弁尖の延長が合併した場合にも、流出路狭窄を来すことがある。

今回、我々はこれら以外の原因で、左室流出路狭窄を来し得る2症例を経験したので、若干の文献的考察を交えて報告する。

症例1；44歳男性。心雑音を指摘され、精査目的で心エコー検査を施行。僧帽弁両尖に可動性ある嚢胞状腫瘤を認めた。嚢胞状腫瘤は、収縮期に左室流出路に突出し、流出路狭窄様を呈した。この時の最大圧較差はCW法で46mmHgであった。

症例2；52歳男性。高血圧で他院通院中、心機能精査目的で当院紹介受診。心エコー検査で、左室中部閉塞型の肥大型心筋症と僧帽弁前尖に可動性ある小葉状エコーを認めた。この小葉状エコーは、収縮期に大動脈弁弁尖近くまで翻転して流出路狭窄様を呈した。この時の最大圧較差はCW法で17mmHgであった。

# 『東京心エコー図研究会』 会則

## 第 1 条（名称）

本会は、『東京心エコー図研究会』と称する。

## 第 2 条（目的）

本研究会は、心エコー法による診断および治療の発展に貢献することを目的とする。

## 第 3 条（事業）

本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

1. 年 2 回の研究発表のための研究会を行う。
2. その他、本会の目的を達成するために必要な事業。

## 第 4 条（会員）

本会の会員は、本会の趣旨に賛同する医師及び検査技師、その他の医療従事者によって構成される。

## 第 5 条（役員）

本会には、次の役員を置く。

世話人：若干名（世話人は会員の中から選出される）。

代表世話人：世話人の中から選出され、本会の責任者とする。

当番世話人：世話人の中から 1 名選出される。

運営委員：代表世話人が世話人の中から若干名選出する。

会計：運営委員の中から 1 名選出する。

監査：運営委員の中から 1 名選出する。

## 第 6 条（役員の仕事）

本会の役員は次の職務を行う。

1. 代表世話人は世話人会を組織し、この会則に定める事項のほか本会の維持と運営に関する重要事項を審議する。
2. また代表世話人は運営委員を選出する。
3. 当番世話人は当番回の会運営（一般演題の募集・選定、特別講演の演者選定、座長、開催日時の決定）を行う。
4. 運営委員は会の運営について協議し世話人会時に議題として提示する。
5. 世話人会は本会の目的を達成するため重要事項を審議する。
6. 世話人会は新規世話人の選出にあたる。

#### 第7条（会則改定）

本会則は世話人会の協議により、適宜改正できるものとする。

#### 第8条（役員会）

世話人会は本会の議決機関である。

#### 第9条（会費及び会計）

本会の経費は会費・その他の収入を以て当てる。

1. 研究会開催毎に徴収する500円をもって会費とする。
2. 会費の変更は世話人会の承認を受ける。

会計年度は4月1日から翌年3月末までとし、翌年度初回世話人会にて会計報告を行う。

#### 第10条（任期）

代表世話人、運営委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

#### 第11条（役員資格の喪失）

役員は以下のいずれかに該当する場合には世話人会の過半数の議決により資格を喪失する。

1. 心身の障害の為、職務の執行に耐えないと認められた場合。
2. 特別の理由無く、世話人会を4回以上継続して欠席した場合。
3. 本人により辞退の申し出があった場合。
4. 東京心エコー図研究会の名誉を著しく毀損したり、東京心エコー図研究会の目的に反する行為をしたときなど世話人会がふさわしくないと判断した時、代表世話人が提言し、世話人会で過半数の賛成があった場合に、除名できる。

#### 第12条（事務局）

本会の事務局は以下に置く。

旧榊原記念病院

〒151-0052 東京都渋谷区代々木2-5-4

電話:03-3375-3111(事務担当:興石 剛夫)

#### 第13条（付則）

本会則は平成18年11月25日より改訂し、施行する。

本会則は平成20年5月17日より改訂し、施行する。

本会則は平成21年5月30日より改訂し、施行する。

本会則は平成22年4月1日より改訂し、施行する。

特別顧問

顧問	坂本 二哉	半蔵門病院
	中村 憲司	榊原記念クリニック
	林 輝美	医療法人財団聖蹟会 埼玉県中央病院
	山口 徹	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院
	平井 寛則	医療法人山内龍馬財団山内病院
	鄭 忠和	和温療法研究所

代表世話人

	羽田 勝征	榊原記念クリニック
--	-------	-----------

運営委員

	羽田 勝征	榊原記念クリニック
	石光 敏行	茨城県メディカルセンター
	竹中 克	東京大学医学部附属病院
	澤田 準	心臓血管研究所
	赤石 誠	北里研究所病院
	石塚 尚子	東京女子医科大学附属成人医学センター

会計

	赤石 誠	北里研究所病院
--	------	---------

監査

	竹中 克	東京大学医学部附属病院
--	------	-------------

(敬称略)



## 世話人

赤石 誠	北里研究所病院 循環器科
浅川 雅子	JR 東京総合病院 循環器内科
芦原 京美	東京女子医科大学 循環器内科
石塚 尚子	東京女子医科大学附属成人医学センター 循環器科
石光 敏行	茨城県メディカルセンター
岩永 史郎	埼玉医科大学国際医療センター
上田 宏昭	等々力診療所 循環器内科
宇野 漢成	東京大学医学部附属病院 コンピュータ画像診断学/予防医学講座
笠巻 祐二	日本大学医学部附属板橋病院 循環器内科
金田 智	東京都済生会中央病院 放射線科
茅野 博行	昭和大学病院 循環器内科
河合 祥雄	順天堂大学医学部附属順天堂医院 循環器内科
川井 真	東京慈恵会医科大学 循環器内科
川滝 元良	神奈川県立こども医療センター 周産期医療部門新生児科
喜納 峰子	東京医科大学八王子医療センター 循環器内科
小林 さゆき	独協医科大学越谷病院 循環器内科
佐伯 文彦	東芝ヒューマンアセットサービス株式会社 保険支援業務部
坂田 好美	杏林大学医学部 第二内科
澤田 準	心臓血管研究所 循環器科
椎名 明	椎名内科クリニック
芝田 貴裕	東京慈恵会医科大学附属第三病院 循環器内科
鈴木 真事	東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科 臨床検査部
瀬尾 由広	筑波大学大学院人間総合科学研究科 循環器内科
関根 泰	君津中央病院 循環器科
大門 雅夫	東京大学医学部附属病院 循環器内科
高橋 健	順天堂大学医学部附属順天堂医院 小児科
竹中 克	東京大学医学部附属病院 検査部
田中 信大	東京医科大学八王子医療センター 循環器内科
田村 徹太郎	日野自動車株式会社安全環境推進部 こころとからだの健康増進センター日野
富松 宏文	東京女子医科大学 循環器小児科
中島 啓喜	社会福祉法人 三井記念病院 循環器内科
長田 尚彦	聖マリアンナ医科大学 循環器内科
新沼 廣幸	聖路加国際病院 循環器内科

布田	伸一	東京女子医科大学東医療センター	内科
納富	雄一	一般財団法人神奈川県警友会	けいゆう病院
信岡	祐彦	聖マリアンナ医科大学	臨床検査部
羽田	勝征	榊原記念クリニック	循環器内科
原田	昌彦	東邦大学医療センター大森病院	臨床生理機能検査科
平井	寛則	山内病院	循環器内科
福田	延昭	高崎総合医療センター	循環器科
本間	博	日本医科大学附属病院	第一内科
松村	誠	埼玉医科大学国際医療センター	心臓内科
馬原	啓太郎	榊原記念病院	循環器内科
宮崎	彰	千葉県循環器病センター	循環器科
村田	光繁	慶應義塾大学	循環器内科
横山	直之	帝京大学医学部附属病院	循環器科
渡邊	弘之	東京ベイ・浦安市川医療センター	循環器内科

(敬称略、五十音順)

## 過去特別講演一覧

第1回	1986/12/6	アロカ株式会社 東京慈恵会医科大学心臓外科 埼玉医科大学第一外科 東京大学第2内科	望月 剛 先生 宮沢 総介 先生 松村 誠 先生 羽田 勝征 先生	high PRF法の原理 high PRFH法の臨床経験
第2回	1987/7/12	東京大学第2内科 筑波大学臨床医学系内科	竹中 克 先生 石光 敏行 先生	パルスドップラー法、連続ドップラー法について カラードップラー法について
第3回	1987/12/5	自治医科大学循環器内科 東京慈恵会医科大学心臓外科 静岡県立こども病院循環器科	鈴木 修 先生 鈴木 茂 先生 斎藤 彰博 先生	心エコー診断の信頼性は万全か？
第4回	1988/4/10	東北大学抗酸菌研究所 神戸中央市民病院 香川医科大学 国立循環器病センター 心臓血管研究所附属病院 東京医科歯科大学第2内科	田中 元直 先生 吉川 純一 先生 千田 彰一 先生 宮武 邦夫 先生 高田 博之 先生 高元 俊彦 先生	心エコー法の問題点 2D、M-mode計測法と問題点 PD、CD法 その計測法と問題点 カラードップラー法の計測法（定量化）と問題点 心エコー図のコンピューター解析 心エコー法と組織性状
第5回	1988/12/10	山口大学第2内科 神戸中央市民病院 帝京大学市原病院麻酔科 公立昭和病院心臓血管外科	松崎 益徳 先生 吉田 清 先生 稲田 英一 先生 高本 真一 先生	外科検査における TEE 弁形成手術における TEE 麻酔管理における TEE 急性解離性大動脈瘤における TEE ～マインツ国際経食道心エコーシンポジウム報告
第6回	1989/5/13	慶應義塾大学医学部呼吸循環器内科 東京女子医科大学付属日本心臓血圧研究所 鹿児島大学医学部リハビリテーション科	半田 俊之介 先生 里見 元義 先生 鄭 忠和 先生	カテ先ドップラー法による冠血流の評価 小児におけるドップラー法による冠血流の描出 ？ 記録無し
第7回	1989/12/9	横河ヒューレットパッカー(株) 東京医科歯科大学第2内科 名古屋大学第一内科 大阪大学医学部第一内科	菊田 憲二 先生 新田 政夫先生 岩瀬 正嗣先生 増山 理先生	カラードップラー法のピットホール 経食道心エコー図法による肺静脈血流の測定 肺静脈血流計測と左房機能 左室流入様式に及ぼす因子：超音波ドップラー法による検討
第8回	1990/5/12	富山医科薬科大学医学部第2内科 アロカ株式会社 東京女子医科大学付属日本心臓血圧研究所	麻野井 英次先生 近藤 祐司先生 菅原 基晃先生	左室と動脈系の適合様式からみた心ポンプ機能の臨床的解析 心エコーの原理上の限界 新しい局所心筋機能解析法
第9回	1990/12/1	東芝医療機器事業部 香川医科大学	町田 薫先生 千田 彰一先生	末梢血管系の超音波診断の為に 超音波組織診断学の展望 一血管内エコー法、超音波顕微鏡の進歩一

第10回	1991/5/25	富士通研究所  東京女子医科大学付属日本心臓血圧研究所	村上 敬一先生  近藤 千里先生	心臓用超音波診断装置の分解能について：現状と将来 ー特にフォーカス、フレームレート、ズーム機能等についてー  MRIによる先天性心疾患の診断
第11回	1991/11/30	山口大学第2内科  埼玉医科大学第一外科	松崎 益徳先生  許 俊鋭先生	経食道エコー法の現状と問題点  動脈硬化病変の診断における経食道心エコー法の現状と問題点 経食道心エコー法の現状と問題点 ー特に小児に関してー
第12回	1992/5/30	日本大学第2内科  筑波大学臨床医学系内科	森内 正人先生  石光 敏行先生	経静脈心エコー法（実験的検討）  マルチプレーン経食道心エコー図探触子の開発と心腔内心エコー図への応用
第13回	1992/11/21	埼玉医科大学第一外科  自治医科大学臨床病理学教室  日立メディコ(株)技術研究所	許 俊鋭先生  谷口 信行先生  佐藤 一弘先生	心臓の3次元表示の試み  心・血管系の3次元表示  超音波法による3次元表示について
第14回	1993/5/22	総合病院鹿児島生協病院小児科  横河ヒューレットパッカー(株)	西畠 信先生  木村 伸昭先生	心疾患の出生前診断と胎児循環動態評価の試み  AQの基本原理
第15回	1994/6/4	東芝医療機器技術研究所  北海道大学医学部循環器内科	平山 信先生  三神 大世先生	組織ドップラー法による Wall Motion Imaging  カラードップラー法における折り返し現象の臨床応用
第16回	1994/11/12	(株)グッドマン  フクダ電子(株)  東邦大学医学部付属大橋病院第3内科	西村 政利先生  福田 光浩先生  出川 敏行先生	テーマ：血管内エコー法の臨床的有用性について  1) 血管内エコー法の基礎  機械走査型  電子走査型  2) 血管内エコー法の臨床
第17回	1995/5/20	千葉大学工学部情報工学科  藤田保健衛生大学医学部循環器内科  国立病院九州医療センター循環器センター	蜂屋 弘之先生  岩瀬 正嗣宣先生  小柳 左門先生	超音波による tissue characterizationー循環器領域への適用  心不全と心エコー  薬物負荷エコー：心筋 viability の評価を中心に
第18回	1995/11/18	ゲッツブラザーズ(株)  埼玉医科大学心臓病センター  北海道大学医学部循環器内科	中島 康博先生  松村 誠先生  三神 大世先生	3次元エコー：画像の取り込みと構築の方法  3次元エコーの臨床応用  3次元エコー：弁膜病変の評価と左室計測
第19回	1996/5/25	大阪大学医学部保健学科  神戸中央市民病院	別府 慎太郎先生  吉田 清先生	臨床から心エコー図に要求されること現況と将来の可能性  コントラスト心エコー図  経食道心エコー図
第20回	1996/11/30	埼玉医科大学第一外科  神戸中央市民病院循環器内科	許 俊鋭先生  赤阪 隆史 先生	心腔内エコー法の臨床応用  冠血流速計測の臨床応用

第21回	1997/6/7	共済会南風病院 大阪警察病院	皆越 真一 先生 石蔵 文信 先生	テーマ：ドップラー法による冠血流描出の試み ドップラー法による心筋内冠血流の描出とその意義 開心術中におけるパワードップラー法の臨床応用
第22回	1997/11/22	府中病院循環器内科 国立九州医療センター循環器部長	太田 剛弘 先生 小柳 左門 先生	テーマ：臨床心エコー図での新たな試み <b>High Speed Volumetric Scanning (Real Time 3D エコー)</b> 負荷心エコー法
第23回	1998/5/30			
第24回	1998/11/21	神戸市立中央市民病院 (有) キクダ ME コンサルタント	吉田 清 先生 菊田 憲二 先生	テーマ：臨床心エコー図での新たな試み <b>M</b> 側心エコー図の自動計測はどこまで可能か <b>E</b> 側心エコー図の自動計測はどこまで可能か
第25回	1999/5/29	世話人による誤診例呈示		
第26回	1999/11/27	兵庫県立姫路循環器病センター 循環器科 大阪大学医学部病態情報内科学	宝田 明 先生 増山 理 先生	心エコーで救急疾患をいかに診るか？ 経静脈心筋コントラストエコー法の実際
第27回	2000/5/20	パネルディスカッション		
第28回	2000/11/18	埼玉医科大学 第一外科	本間 博 先生	心臓外科手術における術中経食道心エコーの役割
第29回	2001/5/12	長野県立こども病院 循環器科	里見 元義 先生	先天性心疾患における超音波診断
第30回	2001/11/24	東京女子医科大学附属日本心臓血圧研究所 基礎循環器科	菅原 基晃 先生	新しい循環動態指標 ~Wave Intensity
第31回	2002/5/25	神戸市立中央市民病院 臨床検査技術部	八木 登志員 先生	冠動脈・バイパスグラフト血流の描出法
第32回	2002/11/30	北海道大学医学部循環病態内科学講座	山田 聡 先生	負荷エコー法について
第33回	2003/5/31	長野県立こども病院 循環器科	里見 元義 先生	先天性心疾患の区分診断法
第34回	2003/11/29	鹿児島大学第一内科	尾辻 豊 先生	虚血性帽弁逆流の機序と治療
第35回	2004/5/29	医療法人渡辺医学会 桜橋渡辺病院 内科	伊藤 浩 先生	実践・3次元心エコー
第36回	2004/11/27	総合病院鹿児島生協病院 小児科部長	西島 信 先生	心臓の発生から考える先天性心疾患の心エコー (胎児エコーから成人まで)
第37回	2005/6/4	川崎医科大学 循環器内科	渡邊 望 先生	「僧帽弁逆流の心エコー図診断」
第38回	2005/11/26	国立循環器病センター 心臓血管内科	中谷 敏 先生	「面白いストレインエコー」
第39回	2006/5/20	長崎大学 循環病態制御外科学 講師	山近 史郎先生	「術中エコーから学ぶべきこと」
第40回	2006/11/25	関西電力病院 循環器内科 部長	石井 克尚先生	「心エコー図法を用いた Diastolic stunning の検出と臨床応用」
第41回	2007/5/26	産業医科大学 第2内科学 教授	尾辻 豊 先生	「心臓弁膜症診断の注意点」
第42回	2007/11/17	医療法人渡辺医学会 桜橋渡辺病院 心臓・血管センター センター長	伊藤 浩 先生	循環器臨床における3次元心エコーの役割
第43回	2008/5/17	葉山ハートセンター	納富 雄一 先生	スペックルトラッキングエコーで表される <b>untwist</b> の拡張能への関わりと臨床への応用
第44回	2008/11/29	東京女子医科大学 循環器内科	石塚 尚子 先生	心臓内の異物・腫瘍

第45回	2009/5/30	東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科	原 英彦 先生	世界におけるインターベンションの現状と非侵襲的検査との関わりについて
第46回	2009/11/21	東京大学 22世紀医療センター大学院医学系研究科 重症心不全治療開発講座 特任教授	許 俊鋭 先生	重症心不全における非薬物療法 ～最新の人工心臓治療について～
第47回	2010/5/22	順天堂大学医学部 循環器内科 学講座准教授 東京大学医学部附属病院22世紀医療センター 東京女子医科大学 循環器内科 榊原記念病院 心臓血管外科 榊原記念病院 循環器内科 副部長	大門 雅夫 先生 宇野 漢成 先生 芦原 京美 先生 福井 寿啓 先生 井口 信雄 先生	『大動脈弁疾患について』 低心機能のASへの対応 Moderate ASの考え方 人工弁評価のポイント AS手術の困難さ CT・MRIとAS
第48回	2010/11/13	東京女子医科大学東医療センター 東京女子医科大学附属成人医学センター 東京大学医学部附属病院22世紀医療センター	布田 伸一 先生 石塚 尚子 先生 宇野 漢成 先生	『シンポジウム～心移植～』 心移植後の管理について 心移植後の心エコー所見（総論） 心移植後の心エコー所見
第49回	2011/5/21	東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科 榊原記念病院 循環器内科	原 英彦 先生 渡邊 弘之 先生	ハイリスク重症大動脈弁狭窄症に対する経カテーテル治療、 欧米におけるTAVIの現状 経カテーテル大動脈弁置換術における心エコー図の役割 ～術中・術後の観察ポイント～
第50回	2011/11/26	筑波大学 循環器内科 准教授 半蔵門病院	瀬尾 由広 先生 坂本 二哉 先生	左室非同期イメージングの進歩 東京心エコー図研究会の小史（第50回記念特別講演）
第51回	2012/5/18	神戸市立医療センター中央市民病院	岡田 行功 先生	心臓弁膜症における心エコー図の役割
第52回	2012/11/24	慶応義塾大学医学部	山岸 敬幸 先生	先天性心疾患の心エコー図に役立てたい臨床心臓発生学
第53回	2013/5/18	公立大学法人奈良県立医科大学附属病院	平井 都始子 先生	下肢動脈疾患の診療における超音波検査の意義
第54回	2013/11/30	筑波大学医学医療系	石津 智子先生	左室壁運動のミクロとマクロ
第55回	2014/5/24	社会福祉法人 恩賜財団 済生会熊本病院	西上 和宏先生	エコーで診る大動脈疾患
第56回	2014/11/29	大阪大学大学院医学系研究科	中谷 敏先生	SHD診療における心エコーの役割
第57回	2015/05/30	仙台厚生病院 心臓血管センター	松本 崇先生	MitraClip system：現在の適応と今後の僧帽弁治療

## 当番世話人一覧

	当番世話人	所属施設名	開催日
第1回	中村 憲司 先生	東京女子医科大学心臓血圧研究所 循環器内科	1986/12/6
第2回	羽田 勝征 先生	J R 東京総合病院 循環器内科	1987/7/12
第3回	椎名 明 先生	自治医科大学 循環器内科	1987/12/5
第4回	平井 寛則 先生	東邦大学医学部付属大橋病院 第三内科	1988/4/10
第5回	許 俊鋭 先生	埼玉医科大学付属病院 第一外科	1988/12/10
第6回	小川 聡 先生	慶應義塾大学 呼吸循環器科	1989/5/13
第7回	高元 俊彦 先生	東京医科歯科大学 第二内科	1989/12/9
第8回	澤田 準 先生	心臓血管研究所付属病院	1990/5/12
第9回	竹中 克 先生	東京大学 第二内科	1990/12/1
第10回	里見 元義 先生	東京女子医科大学附属心臓血圧研究所	1991/5/25
第11回	高本 真一 先生	公立昭和病院 心臓外科	1991/11/30
第12回	林 輝美 先生	獨協医科大学越谷病院 循環器内科	1992/5/30
第13回	石光 敏行 先生	筑波大学付属病院 臨床医学系内科	1992/11/21
第14回	斎藤 彰博 先生	静岡県立こども病院 循環器科	1993/5/22
第15回	桑子 賢司 先生	帝京大学医学部付属溝口病院 第四内科	1994/6/4
第16回	田村 勤 先生	三井記念病院 循環器センター内科	1994/11/12
第17回	小澤 優樹 先生	昭和大学病院 第三内科	1995/5/20
第18回	大滝 英二 先生	榊原記念病院 循環器科	1995/11/18
第19回	赤石 誠 先生	慶應義塾大学 呼吸循環器科	1996/5/25
第20回	齋藤 穎 先生	日本大学医学部付属板橋病院 第二内科	1996/11/30
第21回	山口 徹 先生	東邦大学医学部付属大橋病院 第三内科	1997/6/7
第22回	伏島 堅二 先生	千葉県立鶴舞病院 循環器科	1997/11/22
第23回	一色 高明 先生	帝京大学医学部付属病院 内科	1998/5/30
第24回	高澤 謙二 先生	東京医科大学病院 第二内科	1998/11/21
第25回	竹中 克 先生	東京大学 中央検査部	1999/5/29
第26回	松村 誠 先生	埼玉医科大学付属病院 第一外科	1999/11/27
第27回	高田 博之 先生	多摩南部地域病院 循環器科	2000/5/20
第28回	本間 博 先生	日本医科大学付属病院 第一内科	2000/11/18
第29回	石塚 尚子 先生	東京女子医科大学附属心臓血圧研究所 循環器内科	2001/5/12
第30回	大川 真一郎 先生	東京女子医科大学附属第二病院 内科	2001/11/24
第31回	河合 祥雄 先生	順天堂大学医学部付属順天堂医院 循環器内科	2002/5/25
第32回	佐伯 文彦 先生	東芝病院 内科	2002/11/30

第33回	中村 憲司 先生	東京女子医科大成人医学センター 循環器科	2003/5/31
第34回	羽田 勝征 先生	J R 東京総合病院 循環器内科	2003/11/29
第35回	原 和弘 先生	三井記念病院 循環器内科	2004/5/29
第36回	富松 宏文 先生	東京女子医科大学 循環器小児科	2004/11/27
第37回	宮崎 彰 先生	千葉県循環器病センター 循環器内科	2004/6/4
第38回	鈴木 真事 先生	東邦大学医療センター大森病院 循環器内科	2005/11/26
第39回	岩永 史郎 先生	慶應義塾大学 循環器内科	2006/5/20
第40回	原田 昌彦 先生	東邦大学医療センター大森病院 臨床生理機能検査部	2006/11/25
第41回	高橋 利之 先生	JR 東京総合病院 循環器内科	2007/5/26
第42回	笠巻 祐二 先生	日本大学医学部 内科学講座循環器内科部門	2007/11/17
第43回	芝田 貴裕 先生	東京慈恵会医科大学附属第三病院 循環器内科	2008/5/17
第44回	田村 徹太郎 先生	国立がんセンター中央病院 生理検査室 循環器グループ	2008/11/29
第45回	中島 啓喜 先生	三井記念病院 循環器内科	2009/5/30
第46回	坂田 好美 先生	杏林大学医学部 第二内科	2009/11/21
第47回	渡邊 弘之 先生	榊原記念病院 循環器内科	2010/5/22
第48回	布田 伸一 先生	東京女子医科大学東医療センター	2010/11/13
第49回	田中 信大 先生	東京医科大学 循環器内科	2011/5/21
第50回	川井 真 先生	東京慈恵会医科大学 循環器内科	2011/11/26
第51回	宇野 漢成 先生	東京大学医学部附属病院 コンピューター画像診断学・予防医学講座	2012/5/19
第52回	芦原 京美 先生	東京女子医科大学 循環器内科	2012/11/24
第53回	金田 智 先生	東京都済生会中央病院 放射線科	2013/5/18
第54回	上田 宏昭 先生	等々力診療所	2013/11/30
第55回	横山 直之 先生	帝京大学医学部附属病院 循環器内科	2014/5/24
第56回	喜納 峰子 先生	東京医科大学八王子医療センター 循環器内科	2014/11/29
第57回	茅野 博行 先生	昭和大学医学部内科学講座 循環器内科学部門	2015/05/30

※開催当時の所属施設を記載しております